

令和5年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生保護柵の点検・保全

《目的》国有林に設置した植生保護柵の点検、修復、植生復元状況調査など

《実施日》5/25・5/27・7/17(修理)・8/22・11/24

《内容》破損等の点検・倒木処理など

《事業》ニホンジカによる食害調査、ナラ枯れ調査

《目的》樹皮被害の記録、ナラ枯れの進行状況の記録

《実施日》5/25・8/22

《内容》目視調査、写真撮影による記録

《事業》樹皮防護ネット設置(御殿場小山ボーイスカウトと協働)

《目的》森の中で母樹となる樹木の樹皮をニホンジカの食害から保護する

《実施日》8/26(事前調査)・9/3

《内容》須山口周辺のナツツバキにサプリガードを設置 参加者 37名

2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画

ミズナラの巨木がナラ枯れ被害で倒壊した空間の植物相調査を実施

《目的》人工林を天然林に復元するための実験

森全域で起きているナラ枯れ被害のモニタリング・基礎データとして

《実施日》9/19・10/16

《内容》15年前の植物相調査記録と比較することで協定林の間伐による効果を考察した

ナラ枯れにより、シンボルツリーであったミズナラの倒壊を記録

報告書「富士山クラブ西白塚協定林 ミズナラの巨木倒壊跡のモニタリング」作成

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》御殿場市 富士山環境保全・教育推進事業

《目的》環境教育のための富士山の自然環境調査

《実施日》4/9・4/14・4/19・4/24・5/1・5/4(下見)・5/11・5/18・5/26・6/1・6/5・6/13

6/17・6/29・9/16・10/13・10/23・11/4・11/20・3/17

(その他に佐藤孝敏氏独自で調査)

《内容》ナラ枯れで環境が変化した麓の雑木林と野鳥の生息について観察

《事業》自然観察会

《目的》野鳥と森林の関係を現地で学ぶ

《実施日》5/4

《内容》講師・日本野鳥の会・勝又立雄氏、滝道夫氏 参加者 ボーイスカウト 14名

《事業》御殿場口自然環境調査
《目的》御殿場口の生物多様性保全のためのコドラート被度調査
《実施日》9/24
《内容》被度調査のため4箇所のコドラートをドローンにより撮影

《事業》森林限界調査
《目的》宝永火口から御殿場口までの現在の森林限界を記録し次世代への基礎データとする
《実施日》9/24
《内容》小天狗塚西側の沢を中心にドローンなどで撮影

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》ナラ枯れ調査
《目的》ナラ枯れの現状をドローンと現地踏査により調査
《実施日》9/13
《内容》踏査およびドローンによるカシノナガキクイムシの被害状況を調査、前年と比較

《事業》パネル展示
《目的》富士山の自然環境保全の啓発
《実施日》6/3・6/11・10/29・11/7～11・11/11
《内容》6/3 ecoまつり 6/11 玉穂ふれあい文化展 10/29 玉穂地区中畑南区文化祭
11/7～11 元気わくわくごてんばフェスタ 1/11～12 夢フェスタ玉穂

《事業》御殿場南高等学校「学校貸します!in 御殿場南高校」に参加
《実施日》2/19
《内容》御殿場南高1年生にボランティア活動とホシガラスの会についてスライドで解説

《事業》ハーバード大学アーノルド樹木園の種子採取に協力
(ハーバード研究者2名、宇都宮大農学部 森林科学科 逢沢准教授他)
《実施日》9/21
《内容》ヒコサンヒメシヤラの種子を採取するための事前調査、現地案内など

- 報告書「富士山クラブ西臼塚協定林 ミズナラの巨木倒壊跡のモニタリング」はホームページで公開している。

2. 総括

3年間の御殿場市植物相調査で記録した植物は1400種を超えたが、季節データが不足している一部地域の補足調査が必要と判断した。御殿場市植物目録の一層の充実を目指したい。

富士山の森林はニホンジカの食害による樹木の立ち枯れ、林床植物の消失に加えてカシノナガキクイムシの大発生によりミズナラの大量枯死が発生するなど、大きな変化が進んでいる。それらの変化の記録は、今後の富士山の環境保全に資することができると確信している。